

化学療法科初期臨床研修プログラム（選択科目）

研修責任者 邦本 幸洋

研修期間：4週～

I. 研修目標

対象となる疾患・病態

当科は消化器癌(食道癌、胃癌、大腸癌、胆膵癌など)、乳癌などの疾患を対象とし、主には遠隔転移のある進行癌や再発癌の診療を行っている。

一般目標 (GIO ;General Instruction Objective)

上記疾患の病態、診断、治療を理解する。

癌化学療法や有害事象について理解する。

進行癌、末期癌の患者さんへの接し方について学ぶ。

行動目標 (SBOs ;Structural Behavior Objectives)

臨床研修指導医等とともに担当患者を受け持ち、診療に携わる。

癌薬物療法についての知識を深めるため、各種カンファレンスへ参加する。

レジメン検討会(不定期 第4木曜日 17:00)に参加する。

消化器外科合同カンファレンス(金曜日 12:00)に参加する。

II. 方略(研修場所：化学療法科外来、F6、F7病棟など)

1) 癌薬物療法

治療計画の作成、抗がん剤副作用対策、化学療法の効果判定を理解する。

癌治療での緊急処置を把握する。

進行癌の合併症やがん性疼痛対策を理解する。

2) 進行再発癌の診断と治療

進行再発癌の病態診断、手術や放射線治療の適応、緩和ケアの基本、終末期管理を把握する。

3) 学会活動

研修期間中に適切な症例があれば、症例報告などの発表を行う。

III. 評価

指導医により、診療態度や知識、技能の学習成果を総括的評価として行う。

IV. 研修医への提言

がん診療はチーム医療であり、指導医やスタッフとよくコミュニケーションをとり、診療にあたる。特に患者さんとの信頼関係は重要であり、告知や診療方針の説明、bad news の伝え方などコミュニケーションスキルに基づいて話を行う。積極的な姿勢で、医療現場での知識習得に励んでもらいたい。